

小野田支部事業報告

支部長 大林幸恵

活動目標	<p>1) 地域包括ケアシステム推進の一助となるよう、地域に密着した事業を展開する</p> <p>2) 支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る</p> <p>3) 活動を通して地域の人々の健康を支援する</p>
評価と今後の課題	<p>支部看護職への教育研修として実践スタイルの研修を行った。支部の看護師だけでなく地域の看護師や介護職にもアナウンスした。病院看護師だけでなく訪問看護師・介護職も参加し応募人数より少ない参加ではあったが参加者からはとても評価が高かった。今後も継続したいが集客につながる策が必要。</p> <p>地域会議に参加し、地域の状況に合わせた事業の展開を試みた。まだまだ地域に対して看護師の仕事・役割について周知する努力が必要だと感じた。</p> <p>今年度末に新型コロナウイルス感染の拡大により、会議の開催が阻まれ計画がとん挫してしまった。ITを活用した会議の在り方も検討していく機会であると感じた。</p>
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	<p>1) 支部研修会 2回：認定看護師を活用した実践スタイルの研修</p> <p>(1) 摂食嚥下：R1.11.9 R1.8.31は大雨の影響で中止、R1.11.9に延期となった。</p> <p>(2) WOC：R2.1.25</p> <p>2) 出張研修：認知症とせん妄 R1.10.5</p>
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1) 県協会主催事業への協力</p> <p>2) 働き続けられる職場づくり支援</p> <p>3) 就業促進：看護師の仕事や看護職となるための方法について説明を行う まちの保健室の中で進学相談も行っていましたが実際相談されることはなかった。今後は意図的で戦略的な行動が必要である。</p>
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	<p>1) 「看護の日」行事開催：6施設で実施</p> <p>2) 「いいお産の日」行事をR1.11.17 山陽小野田市主催 SOS健康フェスタ内で実施したが「まちの保健室」事業メインになった。</p> <p>3) 「まちの保健室」6回</p> <p>4) 看護体験実施：各施設で実施</p> <p>5) 在宅ケア市民公開講座：地域住民への健康教育については未実施</p>
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	<p>1) 表彰候補者の推薦：県協会への協力</p> <p>2) 支部交流会 2回：1回のみ支部集会の後に実施</p>
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	<p>1) 支部役員会 5回：3回実施</p> <p>2) 支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回</p> <p>3) 支部活動の充実</p> <p>(1) 地域会議へ出席</p> <p>① 宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回</p> <p>② 山陽小野田市健康づくり協議会</p> <p>③ 山陽小野田市在宅医療・介護連携推進協議会</p> <p>④ 山陽小野田市在宅医療・介護連携協議会広報委員会</p> <p>⑤ 山陽小野田市在宅医療・介護連携協議会作業部会</p> <p>(2) 看護学校式典出席</p> <p>※3月予定の会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止、地域会議も中止、卒業式も参列中止となった。</p>